

nano GSM coating は、従来の銀鏡塗装とは全く異なる銀メッキ調塗料です。

コロイド状の銀ナノ粒子を塗料の中に溶かしこむことで、通常通りのスプレー塗装で銀メッキ調の塗装を行うことができるようになりました。

これまでの銀鏡塗装に比べて必要な設備も作業工程も非常にシンプルになりましたので、気軽に銀メッキ調塗装をすることができます。

nano GSM coating

テクノロジーが実現する、 「普段の感覚で塗れる銀」。

これまでの銀鏡塗装と一番異なる点は、nano GSM coating は普段の塗装と同じように銀メッキ調塗装可能というところです。常温で銀膜を形成できるナノサイズの銀コロイド粒子を溶剤に溶かし込むことにより、微細な銀粒子を吹き付けて銀膜を形成することが可能になりました。つまり、普段の塗装の感覚で、簡単に銀メッキ調の表面を得ることができるのです。



専用着色剤の添加により鮮やかな着色も可能です。



特殊な専用設備は不要。 買ったその日に使えます。

普段の塗装と同じように銀メッキ調塗装ができるというのは、作業工程だけの話ではありません。

大がかりなメッキ槽はもちろん、銀鏡塗装にしか使えない特殊なツインシューターガン（双頭ガン）等もありません。必要なのは、スプレーガン、コンプレッサー、ペイントスケール、排気設備と乾燥設備といった、普段から使用している塗装設備のみ。気になったら、すぐ導入できます。

高輝度反射で、雑誌の文字もクッキリ映り込みます。

従来の銀鏡塗装との違い

従来の銀鏡塗装	nano GSM coating
トップコートクリアー層	トップコートクリアー層
リンス	シルバーコート層
銀鏡メッキ層	アンダーコート層
第二活性化層	
第一活性化層	
アンダーコート層	
基材	基材

従来の銀鏡塗装は、多くの工程が必要でした。そのため、「工程が複雑で作業難易度が高い」、「コスト（材料・作業費）が高くなる」といった課題を抱えていました。また双頭ガン等の特殊設備が必須なため、導入のハードルも低くありませんでした。さらに、銀鏡反応の欠点として、銀膜の黄変・白ボケ・腐食などの問題がありました。

nano GSM コーティングは、銀鏡反応ではなく、コロイド状の銀ナノ粒子を吹き付けるので、工程が少なく、専用設備も不要、黄変などのリスクも低下しました。

従来の銀鏡塗装

- 特殊な設備が必要
- 施工時の工程数が多い
- 水洗等の特殊工程がある
- 塗装後の外観・性能が不安定
- 塗装コストが高つく

nano GSM coating

- 特殊な専用設備は不要！
- 施工時の工程数が少ない！
- 通常の塗装と同じ工程のみ！
- 塗装後の安定性が高い！
- 塗装コストが安い！

仕様

工程	仕様
下地調整	下地の油分・水分・そのほか有害な付着物を除去し、綺麗に面出ししてください。研磨は、最終は #3000 程度の細かいペーパーで仕上げてください。
下塗り	GSM アンダーコートを使用（主剤、硬化剤、シンナー） 一度パラ吹きしてから、2～3回程吹いて表面を平滑に仕上げてください。 重量配合比／主剤：硬化剤：シンナー＝6:1:4～6、ターゲット膜厚／10～20μm
強制乾燥	80℃×30分をキープし、溶剤がしっかり抜けるまで強制乾燥して下さい。 80℃以下での乾燥の場合は、強制乾燥時間を長くして対応してください。 (乾燥が不十分な場合、仕上がり品質が不十分なものになります)
シルバーコート	GSM シルバーコート、シルバーコートシンナーを使用。 2コートで終わらせるつもりで、一気に塗り込んでください。 当初は茶色く見えると思いますが、後に綺麗なシルバーになります。 希釈率／100～300%（重量比）、ターゲット膜厚 0.2μm 以下
強制乾燥	80℃×10分をキープし、溶剤が抜けるまで強制乾燥してください。
上塗り	GSM トップコートを使用してください。（主剤、硬化剤、シンナー） 重量配合比／主剤：硬化剤：シンナー＝8:1:4～6、ターゲット膜厚／10～20μm
強制乾燥	80℃×30分をキープし、溶剤がしっかり抜けるまで強制乾燥して下さい。



STARTER KIT も
ご用意しております。

株式会社グローバルスズキ

兵庫県神戸市灘区城の下通 2-3-31

TEL : 078-200-6531 FAX : 078-200-6537

<http://global-suzuki.com>

info@global-suzuki.com